

えべつ 市議会だより

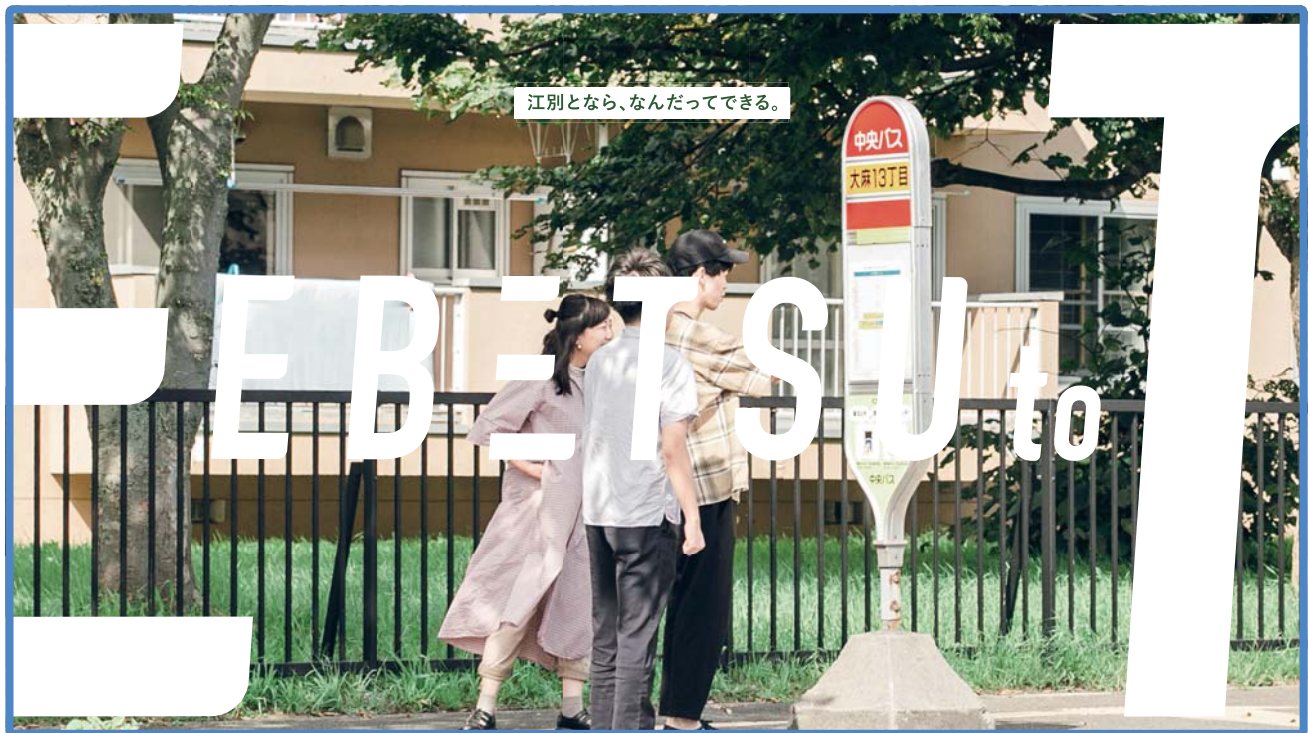
令和4年11月1日発行

No.151

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話(011)381-1051

編集 議会広報広聴委員会
印刷 江別印刷業協同組合

EBETSUtoにインタビューしました



江別で、各分野のエキスパートと一緒にやってみたいことを実現していく大学生のプロジェクト団体「EBETSUto」に今感じていることや、江別市議会に期待することを伺いました。インタビューの詳細は、特集ページを御覧ください。

写真中央の「EBETSUto」のロゴも、市内デザイナー監修のもと、大学生がデザインしました。

主な内容

- ◇ 特集 インタビュー EBETSUto×江別市議会 2～3
- ◇ 令和4年第3回定例会の概要 …… 4～5
- ◇ 一般質問 …… 6～10
- ◇ 特集 所管事務調査を実施しました …… 11
- ◇ 委員会のページ …… 12

次期定例会の開催予定

- 第4回定例会
11月25日～12月13日
- 各委員会
11月28日～12月2日
- 一般質問
12月6日、7日、8日

※日程は予定です。
詳しくは議会事務局まで
お問い合わせください。

[議会ホームページ](http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/) <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。

また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

(詳細)障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

巻頭インタビュー

江別市内の大学生団体

EBETSUto

×

江別市議会

今回は、江別をフィールドに大学生の「やってみたい」を実現していくプロジェクト団体“EBETSUto”(エベツト)に参加している大学生の皆さんに、江別市のイメージや、EBETSUtoの活動について、また、江別市や江別市議会に期待することについて伺いました。(EBETSUtoの希望により、本名ではなく、イニシャルでの掲載としております。)



インタビューの様子(手前がEBETSUtoの皆さん)

EBETSUtoだったら応援してくれる
コミュニティに入るハードルも、EBETSUtoがハブになるから乗り越えられる

—皆さん、江別市以外の出身ですが、江別市の印象は？

Nさん(福井県出身) 自然が豊かですが、田舎でもなく、交通の便も整っています。風が強いこと以外に不便はありません。

SAさん(札幌市出身) 色々なことにチャレンジしている大人が多い印象です。自分の親は厳しか

ったのですが、たくさんの大人と関わることで、自分の親だけが大人じゃないんだと気づくことができました。

Sさん(滝川市出身) 江別市は、都会です！

—江別市に、あったらいいなと思うモノやコトはありますか？

SAさん 自由に使えるコワーキングスペース(※)があったら、嬉しいです。場所は駅前がいいですね。今は、パソコンで作業する場所がないので、公園の駐車場などに車を停めて、車内で作業しています。

Nさん 楽器が演奏できる防音設備が整った場所が欲しいです。学生目線の施設利用について、も

っと情報が欲しいです。

SAさん 私たちも使える施設なのに、無意識に使えないと思ってしまうのかもしれないですね。もっと地域とコミュニケーションが取れたらいいと思います。

そのほかには、江別市内の4大学全体で学祭ができればいいと思っていました。残念ながらコロナ禍で実現しませんでした。

※コワーキングスペース…異なる職業や仕事を持った人たちが同じ場に集まり、作業場をシェアすること

(3)



議場見学の様子

4大学の学生同士の交流が薄いので、共通のコミュニティがつくれるといいですね。
Sさん 私は、EBETSUtoの活動がきっかけで、市内で就職したいと考えるようになりました。若者が必要としている就職先の情報が知りたいです。

—江別市議会に期待することはありますか？

SAさん 意外と大学生は、大人に話しかけてほしいと思っています。学生と大人の立場を超えた、座談会をしてみたいです。

Sさん 大学ではウェブ企画のコンテストがあります。議会でも、学生対象のプレゼンやコンペのようなものを開催し、そこで企画が採用され、実装の可能性もあるとなれば、面白いのではないのでしょうか。

Nさん 学生は、議会とコミュニケーションが取りにくいと感じています。コミュニケーションの手段を増やし、今回のような取組の実績をお知らせすることで、「学生の声を聴いてくれる」という印象を持つてもらえるのではないのでしょうか。

—今回の感想を踏まえて、市内の大学生に向けて一言お願いします。

Nさん そもそも議員の方と話

せる機会が少ないです。こんなふうに学生と関わろうとしてくれる議会は初めてです。そんな議会のある江別市内の学生は幸運だと思います。

Sさん EBETSUtoにもっとたくさんの人に参加してほしいです。色々な職業の大人と話せる機会が多くなります。

SAさん 大学の4年間はあっという間です。もやっとしたアイデアの段階でも、身近な大人に話してみるといいです。早い段階から動くのが大事です。できるだけ早く、江別市の大人の人たちと交流したほうがいいですよ！

EBETSUtoの活動はこちらから御覧ください

twitter



Instagram



FB



HP



令和4年 第3回 定例会

第3回定例会は9月1日から9月28日まで28日間の会期で開かれました。手数料条例の一部改正などの議案7件、水道・下水道・病院の各事業会計決算の認定3件、意見書案4件、請願2件、報告11件を議したほか、一般会計・各特別会計の決算の認定5件については閉会中の継続審査となりました。

主な議案と各事業会計の決算審査の内容についてお知らせします。

議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。



条例

◎手数料条例の一部改正

長期優良住宅の普及の促進に関する法律の一部改正に伴い、増改築を行わない既存住宅について、長期優良住宅維持保全計画の認定が新設されたことから、当該認定の事務に係る手数料の追加など、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方公務員法の一部改正に伴い、令和5年4月1日から市職員の定年を60歳から65歳まで、2年に1歳ずつ段階的に引き上げるほか、管理監督職務上限年齢制などを導入するため、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

予算・決算

◎一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症の対策やコロナ禍における原油価格・物価高騰対策等への措置のほか、緊急を要するものへの措置などにより、7億8千956万1千円を増額し、予算総額は、502億6千578万3千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎令和3年度病院事業会計資本金の額の減少

地方公営企業法の全部適用による新たな経営体制の下、解消すべき累積欠損金の規模を明確化し、病院経営における収支構造の見える化を図るため、病院事業会計の資本金の額を減少し、繰越欠損金に補填するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎令和3年度水道・下水道・病院各事業会計の決算認定

令和3年度の水道・下水道・病院の各事業会計決算は、定例会初日に予算決算常任委員会に付託され、会期中に審査が行われました。

上下水道事業会計の審査では、

水道事業会計における給水停止に対する認識についての質疑に対し、給水停止は水道料金を長期にわたる滞納している方に対し、接触を図るための手段として実施しているが、ライフラインとしての水道の重要性は十分に認識していることから、給水停止の執行に当たっては、対象世帯の生活状況の確認を丁寧に行った上で、慎重に対応していきたいと答弁されております。そのほか、資金残高の推移、漏水率、下水汚泥の緑農地還元による効果などについての質疑が交わされました。

また、病院事業会計の審査では、診療収益の状況についての質疑に対し、令和3年度の収益実績額が、当初計画値を下回った要因として、新型コロナウイルスの接種による感染拡大の収束が想定より進まなかったことや、手指消毒などの環境変化により新型コロナウイルス感染症以外の外来患者数をコロナ禍の前まで戻すことができなかったことなどが挙げられ、今後は、各診療科の医師に加え、コメディカル（医療専門職種）からも目標値を出してもらうことにより、実現可能な収支計画にしていきたいと答弁されて

(5)

えべつ市議会だより 令和4年11月1日発行

おります。そのほか、新型コロナウイルス感染症に係る国と北海道からの補助金等の内訳、市立病院の経営再建に向けたロードマップなどについての質疑が交わされました。

なお、本会議では、水道・下水道事業会計決算は多数で、病院事業会計決算は全員一致により、いずれも認定されました。

請 願

■趣旨採択となった請願

◎高年齢者の交通費助成を求めるとについて

高年齢者の交通費助成を求める

江別の会

代表 鈴木 豊実氏

◎江別市子ども医療費助成事業の

拡充を求めることについて

子ども医療費無料化を求める

江別ネットワーク

共同代表 神保 郁子氏

ほか3名

そのほか本定例会に提出された議案

件 名	議決結果
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員一致)
介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員一致)
令和3年度一般会計の決算認定	閉会中継続審査
令和3年度国民健康保険特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和3年度後期高齢者医療特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和3年度介護保険特別会計の決算認定	閉会中継続審査
令和3年度基本財産基金運用特別会計の決算認定	閉会中継続審査
スクールカウンセラーのさらなる配置拡充を求める意見書	原案可決(全員一致)
安定的な食料生産確保を求める意見書	原案可決(全員一致)
国土強靱化に資する社会資本整備等を求める意見書	原案可決(全員一致)
衆議院議員小選挙区における地域の実情を踏まえた区割りの改定を求める意見書	原案可決(全員一致)
専決処分(交通事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
専決処分(体罰による負傷事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
水道事業会計資金不足比率の報告	報告済
下水道事業会計資金不足比率の報告	報告済
病院事業会計資金不足比率の報告	報告済
令和3年度一般会計の継続費精算報告	報告済
健全化判断比率の報告	報告済



議員が市政をただす

一般質問

今定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。



自民クラブ
角田 一 議員

▼エネルギー価格・物価高騰による令和5年度予算への影響

質問 価格高騰は今後も続くと考えられており、令和5年度予算への影響も危惧される。現時点でどの程度の影響を見積もっているのか伺う。

答弁 国では、令和5年度予算の概算要求にあたり、原油価格・物価高騰に対して、所要の地方財政措置を講じることを示しており、市では、こうした国の対策に留意しながら、例年同様、市場価格の状況等を調査した上で、今後、予算編成方針を策定する予定である。

令和5年度予算への影響については、現時点では具体的な金額を示すことは難しいが、市では、物価高騰が今後も続く可能性を踏まえ、国の動向等を注視しながら、必要な予算措置に努めていきたい。

▼公民連携が要請される時代の地元企業の参画手法

質問 行政課題の解決にあたり、公民連携や外部委託が求められている中、地元事業者の参画を進めるための仕組みづくりの考えを伺う。

答弁 市では、公民連携の一環として、郵便局やコープさっぽろによる高齢者の見守りなど、様々な民間企業や大学などとの協定を通じた取組により、地域社会の安全・安心の確保などに対応してきた。また、市内事業者の活用を進める上で、地元企業と行政が共に学びレベルアップしていくことや、発注における透明性を確保する視点は必要なものと考えている。

民間のアイデアを行政が積極的に取り入れる手法は、多様な行政課題に取り組んでいく上で、参考になるものと認識している。

今後も、他の自治体の先進事例について情報収集を行いながら、新たな公民連携の手法についても、研究していきたい。

このほか、デジタル化の推進方針について、地域のクローバル化への対応について質問がありました。

▼男性用個室トイレのサンタリーボックスの設置

質問 尿漏れパッドが捨てられるようなサンタリーボックスを市有施設内の男性用個室トイレへ設置することについての見解を伺う。

答弁 疾病や高齢等により外出に不安のある方が、安心して生活できる社会をつくるためには、市有施設の管理にもきめ細やかな配慮が必要だと考えている。

サンタリーボックスの設置にあたっては、設置スペースや清掃業務との兼ね合いといった課題への対応が、各施設の状況等により異なることから、まずは設置済みの施設の状況を調査するなど、条件や課題等を整理し、設置に向けた手法や施設の範囲等について、検討していきたい。

▼ホームページの届出・申請ページの充実

質問 市民と直接関わる重要な業務である届出・申請について、利便性の向上を図る上でも、ホームページの届出・申請ページを充実させる必要があると考えるがいかがか。

答弁 市では、市民の方が窓口に来られ各種手続を行う際のサポートとなるよう、ホームページに届出・申請の専用ページを設け、各種届出に係る詳細の確認や、申請様式のダウンロードができるようにしている。

しかしながら、掲載方法に統一感がないため、必要な様式が探しにくいといった御意見を頂いている。届出・申請ページを分かりやすく、かつ充実させることは、手続に係る利便性の向上につながると考えていることから、今後についても、当該ページを改めて点検し、掲載する項目や表現の整合を図るなど、市民からの御意見を参考にしながら、使いやすいページとなるよう、改善を図っていききたい。

このほか、不登校特例校について質問がありました。



公明党

徳田 哲 議員

▼国葬への市の対応

質問 市長は、国葬が実施される場合の対応について、どのように考えているのか。

答弁 市では、これまでこのような弔意表明の依頼があった場合には、半旗掲揚など、依頼の内容に応じた対応を決定している。

今回の故安倍晋三元内閣総理大臣の国葬にあたり、岸田内閣総理大臣は、葬儀委員長として各府省において弔意表明を行うことを決定したものの、弔意表明を求める閣議了解は行わず、地方公共団体などに協力を求めない方針とされている。

これまでの弔意表明に係る国の意思決定の過程から、地方公共団体を対象とした弔意表明の依頼は行われ、可能性が高いと考えているが、市では、国及び道の動向を見極めた上で、国からの正式な通知を待つて、市の対応を決定していきたい。

▼洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の避難対策

質問 要配慮者利用施設は水防法に基づき、避難訓練が義務づけられ、訓練実施後は市長に結果報告する必要があるが、訓練の実施状況について、どのように把握しているか。

答弁 市では、令和3年10月に対象施設の管理者等に対し、避難確保計画に基づく避難訓練を原則として年に1回以上実施することとし、その結果を、1か月以内に報告するよう通知したところである。

また、図上訓練や情報伝達訓練、立ち退き避難訓練など実施した訓練の種類のほか、確認された課題とその改善方法等についても報告を求めている。

訓練を実施した施設からは、順次、報告を受けており、新型コロナウイルス感染症が拡大する中にあっても、参加対象の制限や分散避難の実施など、訓練手法を工夫しながら実施されている。

市では、今後とも、効果的な訓練となるよう報告内容を確認し、必要に応じて助言していききたい。



日本共産党議員団

吉本 和子 議員



えべつ地域創生の会
岡 英彦 議員

▼病院事業管理者の地域医療に対する思い

質問 これからの地域医療の姿としての高度先進地域医療とは、どういった医療か伺う。

答弁 高度先進地域医療とは、独自の造語であり、デジタルとアナログの要素を含む医療概念である。

一つは、デジタルを代表するような先進的医療技術は、地域医療においてこそ本領を発揮し得るものであるという捉え方であり、もう一つのアナログの要素は、より重要な本質的なもので、原点回帰の医療者の姿勢である。完璧なAIが席卷する近未来においてこそ、より一層患者様に寄り添うアナログな姿勢を追求することが、不可欠な本質的要素の一つであると思っている。

高度先進地域医療の概念を導入することが、地域医療や僻地医療にまつわる負のイメージを払拭することにつながり、地域医療に携わる医療者たちのプライドを生み出すきっかけになることを期待する。

▼小・中学校における主権者教育

質問 給食に子供たちの意見を反映させていくこと、校則の見直しに子供たちが主体的に参加していく取組のガイドラインを示すことについて、どのように考えているのか。

答弁 学校給食は、心身の健全な発達と食育の推進などを目的とする学校教育にとって重要であり、子供の意見を聴くことは、栄養バランスなど献立の反映には一定の制約はあるものの、主権者教育につながる取組の一つと考えている。

次に、校則は児童生徒が健全な学校生活を営み、よりよく成長していくための指針となるもので、校長が定めるとされているが、校則の見直しにあたり、児童生徒が意見を述べることは、自治的な活動を実践的に学ぶことにも直結する主権者教育として有効な取組と考えている。

市教委では、小・中学校における発達段階に応じた主権者教育がより一層充実するよう、学校を支援していきたい。



民主・市民の会
干場 芳子 議員

▼小・中学校の空気環境検査

質問 空気環境検査を行い、室内化学物質を測定している教室の選定には、各学校によりばらつきがあり、長期的に見て一貫性に欠けるため、抜本的に見直し改善していくべきと考えるがいかがか。

答弁 市教委では、シックスクール対策マニュアルに基づき、市内公立小・中学校の定期検査において、検査箇所を国の基準よりも多く実施してきたほか、必要に応じて臨時検査を実施し、児童生徒が安心して暮らす環境づくりに努めてきた。

また、検査場所の選定方法は、定点測定を基本としながら、学校側から懸念される箇所の聞き取りを行った上で、決定してきたところである。

市教委では、定期検査は、経年比較ができるなど一定のメリットがあることから、今後も定点測定を基本とし、定点測定となっていない一部の学校については、検査場所の整合性を図るなど、適切に実施していきたい。

▼シックスクール対策マニュアルの見直し

質問 現行のシックスクール対策マニュアルに、香害の原因となる洗剤や柔軟剤についても盛り込むことが必要と考えるがいかがか。

答弁 市教委では、国の方針や社会情勢の変化を踏まえ、現在、シックスクール対策マニュアルの見直しを進めている。

洗剤や柔軟剤をマニュアルに盛り込むことについては、香りが与える影響については、様々な意見があることから、国の動向や他自治体の事例を参考としながら、研究していきたい。

このほか、元首相の国葬について、障がいのある方の政治参加における合理的配慮について、江別市学校給食用食器検討委員会について質問がありました。

▼豊幌地区の水利施設等保 全高度化事業

質問 豊幌地区の水利施設等保全高度化事業の対象外となる排水路の整備は、どのように考えているのか。

答弁 質の高い農産物の安定供給を図るためには、排水対策は重要と認識しており、これまで、市内各所で国営、道営土地改良事業による整備を実施してきた。

現在も各地区において事業が実施されているほか、今後においても、事業が計画されているなど、継続して内水対策の充実に向けた取組を進めている。

また、市では、市内9か所の保全会が行う農業排水路等の維持管理に係る経費に対して、一定の負担を行い、その活動を支援してきた。

排水対策事業は農業の根幹をなすものであり、今後の農業振興を図る上でも重要なことから、本地区の農業排水路の整備についても、引き続き、地元農業者の意見や要望を伺いながら、国や道などの関係機関に要請していきたい。

▼エッセンシャルワーカーの 労働環境

質問 エッセンシャルワーカーと呼ばれる職種についての労働環境の維持に対する市の考え方を伺う。

答弁 市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、高齢者施設、障がい者施設、保育施設、学校教育施設への不織布マスクの配布及び消毒液のあっせんを行ったほか、ワクチン接種では、国が定める優先順位に続き市が定めた施設職員に対し、優先的に接種を進め、施設内の感染拡大の防止を図ることと、従事者の労働環境の維持に努めてきた。

エッセンシャルワーカーという言葉は、法令などで定義されている用語ではないことからこの言葉をもって、職種が特定されるものではないと考えているが、市では、長引くコロナ禍において、誹謗中傷されることのないよう啓発を行うなど、引き続き働きやすい環境づくりに努めていきたい。



自民クラブ

芳賀 理己 議員

※エッセンシャルワーカー…社会を支える必要不可欠な仕事に従事する労働者

▼住宅取得支援事業の再検討

質問 物価高騰や地価上昇により、新築住宅取得の経済負担が重くなっているため、住宅取得支援事業の再検討が必要と考えるが見解を伺う。

答弁 住宅取得支援事業は、人口減少対策として、子育て世帯や同居・近居世帯への住宅取得費用等の助成により、定住化を促進することを目的として、平成28年度から4年間の計画期間で実施した。

令和元年には、人口の社会増が自然減を上回るなど、転入超過の誘導的役割を果たしたことから、計画期間に合わせて令和元年度に終了し、定住者に住み続けてもらう政策に転換したところである。

住宅施策に関しては、今後も、人口動態や住宅着工戸数等の動向を注視するとともに、医療・福祉、教育環境の整備などの子育て支援策の効果を踏まえ、現在、実施している未利用市有地の活用や、民間の宅地供給の動向と併せるなど、総合的に判断する必要があるものと考えている。

▼ヤングケアラーへの対応

質問 市教委では、スクールソーシャルワーカーが家庭で重大な課題を抱える子供のために奔走しているが、現状と今後の対応について伺う。

答弁 市教委では、現在、スクールソーシャルワーカーを3名配置し、家庭や学校で困難を抱える児童生徒の支援を行っており、ヤングケアラーの疑いがある児童生徒については、江別市家庭児童対策地域協議会で情報共有しながら支援をしている。

また、学校と関係機関との連携の中心的な役割を担うスクールソーシャルワーカーの重要性が今後増すものと認識していることから、江別市家庭児童対策地域協議会など様々な場面において、スクールソーシャルワーカーと学校や関係機関の連携強化を図り、適切な支援に努めていきたいと考えている。

なお、今後は、支援児童生徒数の推移や支援の内容など、状況を見ながら必要に応じ、対応を検討していきたい。

このほか、グリーン・トランスフォーメーション(GTX)について、太陽光パネルの廃棄問題について質問がありました。



公明党

齊藤 佐知子 議員



公明党
奥野 妙子 議員

▼デジタル障がい者手帳アプリの活用

質問 障がいのある方が気兼ねなく優待等を受けられるように、デジタル障がい者手帳アプリを導入すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 デジタル障がい者手帳アプリは、近年、スマートフォンを活用し、端末の画面を見せることにより、割引を受けることが可能な施設等が全国的に増えていると承知している。

デジタル障がい者手帳アプリは、障がい者手帳の情報をスマートフォンで表示できることから、手帳紛失のリスクや提示の負担などが軽減され、移動や施設利用の際の利便性向上につながるものと認識している。

道内では、このアプリを導入している自治体は少ない状況だが、利用できる場所は、今後、増加していくことが見込まれることから、市では、アプリ導入を検討するにあたり、どのような課題があるか、公共施設の管理者と協議を進めていきたいと考えている。

※アプリ…アプリケーションの略で、特定の作業の目的に応じて設計されたプログラム

▼アピアランスケアサポート助成事業の導入

質問 医療用ウィッグなど補正具の購入費用の負担軽減となるアピアランスケアサポート助成事業を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 医療用ウィッグ等の購入は、医療保険や医療費控除の対象となつておらず、経済的負担が大きいため、市では、がん患者の方が円滑な社会生活を営む上で支障になっていると認識していることから、アピアランスケアに関する支援制度を創設するよう、北海道市長会を通じて、国や道に要望してきた。

引き続き、道のがん相談支援センターについての情報や就労支援、がん患者団体などの情報を必要に応じて提供するなど、がん患者の方やその家族への支援を行うとともに、アピアランスケアサポート助成事業の導入について、まずは、国や道、他市町村の動向を注視していきたい。

このほか、マイナンバーカードの利活用の促進について質問がありました。

※アピアランスケア…医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

江別市議会基本条例の評価・検証について

議会基本条例とは

江別市議会では、議会や議員の活動原則、市民や市長等との関係などの基本的事項のほか、委員会審査における自由討議や請願提出者の陳述機会の確保などを盛り込んだ、議会における最高規範である「江別市議会基本条例」を平成25年4月に制定しています。

議会基本条例の評価・検証の実施

条例では、目的が達成されているかどうかを委員会等において検証することが規定されており、このたび、議会運営委員会の下部組織として「江別市議会基本条例評価・検証ワーキンググループ」を設置し、上記の規定に基づいて、江別市議会基本条例の評価・検証を行いました。

結果については、江別市議会ホームページで公開しておりますので、ぜひ御覧ください。



議会基本条例の
評価・検証結果は、
こちらから



所管事務調査を実施しました

所管事務調査とは

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。所管事務調査権は、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは異なり、常任委員会が個別にテーマを設定し、調査を実施するものです。

今回は、総務文教常任委員会、生活福祉常任委員会、経済建設常任委員会で調査を実施しましたので、その内容を報告します。

総務文教常任委員会

教育活動等調査として、江別第一中学校と北海道林木育種場旧庁舎／サッポロ珈琲館【Rinboku】の調査を実施しました。

江別第一中学校では、GIGAスクール構想推進事業の取組として、タブレット端末等を活用した授業の様子を、北海道林木育種場旧庁舎では、当市に本社を移転した経緯や自治会をはじめとした近隣住民との関わりなどについて説明を受けました。



生活福祉常任委員会



所管施設等調査として、環境クリーンセンター等の廃棄物処理施設、ノーザンフロンティア発電所、江別河川防災ステーションの調査を実施しました。

環境クリーンセンターでは、廃棄物処理や新たな最終処分場建設予定地についての説明を受け、江別河川防災ステーションでは、新たに導入された災害支援車や消防による水難救助訓練の様子などを視察しました。

経済建設常任委員会

農作物生育状況調査として、八幡地区において春まき小麦の調査を、篠津地区において水稲ときゅうりの調査を実施しました。

それぞれ生育状況を調査するとともに、春まき小麦の新品種候補の試験栽培や水稲の直播栽培、きゅうりの低コスト複合環境制御技術などの新たな取組について説明を受けました。





▶ 議会運営委員会

議会における最高規範である江別市議会基本条例の評価・検証を行っていたワーキンググループの協議がまとまり、報告書を作成しました。評価・検証の対象となる全条項(46項目)のうち、十分できているとするA評価が21項目、おおむねできているとするB評価が14項目、不十分であるとするC評価が3項目、評価・検証になじまないとする評価対象外が8項目となりました。

不十分であるとするC評価となったのは、市民意見を聴取する場の在り方、政策提案や政策提言を充実させ市政に反映させるための手法、自由討議の活用についての項目でした。

▶ 総務文教常任委員会

7月15日に教育活動等調査を実施後、デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択事業の生涯健康プラットフォームの概要や長年にわたり誘致活動を続けている道立高等養護学校誘致活動の状況報告を、8月22日には、小中一貫教育の導入に係る取組状況、第7次江別市総合計画策定への取組状況や今後の予定等の報告を受け、それぞれの事業内容や進捗状況について、各委員から様々な視点からの質疑が交わされました。

9月2日には、第3回定例会付託案件2件の審査を行い、原案どおり可決すべきものと決しております。

▶ 生活福祉常任委員会

9月1日の本会議で付託された請願第1号「高齢者の交通費助成を求めることについて」、請願第2号「江別市子ども医療費助成事業の

拡充を求めることについて」の2件について審査を行いました。

それぞれ請願者からの陳述と関係部局からの説明を受け質疑を行った後、このことについて結審に際して請願第1号については、自由討議を行いました。両請願とも多数をもって趣旨採択とすべきものと決しました。

▶ 経済建設常任委員会

経済建設常任委員会所管事務調査として、農作物生育状況調査を実施しました。今回は、八幡地区において春まき小麦の調査を、篠津地区において水稻及びきゅうりの調査をそれぞれ実施しました。

委員会では、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の指定解除について、えべつみらいビルの事業期間終了後について、水道部及び建設部における工事契約状況について、さらに水道部からは大規模工事の概要についてそれぞれ報告を受け、質疑を行いました。

▶ 議会広報広聴委員会

議会広報広聴委員会として、検討を重ねてきた「市民と議会の集い」を11月に開催いたします。今回は市内2か所を会場として、「雪対策について ～大雪で一番困ったこと、感じたこと～」をテーマに、ワークショップ形式で広く皆様の御意見をお伺いする形式とさせていただきます。

昨シーズン的大雪は市民生活に大きな影響を及ぼしたことから、その経験を踏まえて、行政のすべきことや地域でできること、今後の取組などについて、意見交換を行います。多くの皆様の御来場をお待ちしております。